こどものかんじゃのけんり

このびょういんのひとたちは、したにかいてあるきまりをまもって、こどもたちがげんきでいられることを、どのようなときもいちばんにかんがえてがんばります。

（1）こどもたちは、どのようなときでも、ひとりのひととしてたいせつにされます。

（2）こどもたちは、どのようなびょうきにかかったときでも、びょういんのひとたちやかぞくとちからをあわせながら、げんきになるためにいちばんよいほうほうを、かんがえてもらうことができます。

（3）こどもたちは、びょうきのことやびょうきをなおすほうほうを、びょういんのひとに、わかりやすくおしえてもらうことができます。

（4）こどもたちは、びょうきのことやびょうきをなおすほうほうについて、じぶんのかんがえやきもちを、びょういんのひとや、かぞくにつたえることができます。

（5）こどもたちは、じぶんでじぶんのびょうきをなおすことについてきめることができないとき、かわりにかぞくにきめてもらうことができます。

（6）こどもたちは、わからないことやこわいこと、つたえたいことがあるときは、いつでもびょういんのひとたちやかぞくにきいたり、はなしたりすることができます。ただし、みんながきもちよくすごすために、びょういんのやくそくをまもらなければいけません。

（7）こどもたちは、にゅういんしているときでも、できるだけおとうさん、おかあさんなどと、いっしょにすごすことができます。

（8）こどもたちは、にゅういんしていても、べんきょうしたり、あそんだりすることができます。

（9）こどもたちは、びょうきのなおしかたや、なにがよいくすりかを、しらべることのてつだいをおねがいされたときには、くわしくおしえてもらって、くすりなどをつかうかどうかをおとうさんやおかあさんなどとそうだんしてきめることができます。やめたくなれば、いつでもそれをやめることができます。

ていきょうだいがくいがくぶふぞくびょういん